

< 報道関係各位 >

大塚国際美術館

愛称も決定しました！

「ギャラリートーク ロボット」デビュー！

2009年7月18日(土)からスタート

大塚国際美術館(館長:大塚明彦、所在地:徳島県鳴門市)では、夏休みが始まる7月18日(土)に、B3フロアにある名画を案内する、「ギャラリートーク ロボット」がデビューいたします。

当館では、作品をより深く楽しんでいただけるよう、4ヶ国語に対応する音声ガイドに加えて、1日6回の美術ボランティアによる定時ガイド、週末には様々なテーマでスタッフが解説しております。現在、来館者のうち約6割が、これらの鑑賞のサポートを利用しています。

さらにこの夏からは、子どもから大人まで幅広い世代の方に世界のアートを身近に感じていただけるよう、「ギャラリートーク ロボット」を導入いたします。

アートとテクノロジー、エンターテインメントが融合したこのロボットが、来館者の心に西洋美術への関心と好奇心を生み出すことを願っています。

愛称決定! 「アートくん」

2009年4月1日から5月15日まで約1ヶ月半にわたり、このギャラリートーク ロボットに対して広く皆さまに親しみをもちただけるよう愛称を募集し、全国から380件のご応募をいただきました。愛称は、最も応募の多かった「アートくん」に決定し、同名応募11名から1名に名付け親になっていただきました。正式名称は、「大塚アート」です。

名付け親

徳島県徳島市 廣田貴芳【ひろた・きほ】さん 12歳

同名多数の応募があったため、抽選にて選ばせていただきました。ご了承ください。

「アートくん」名前の由来

『すばらしい作品がたくさんあるから』という思いが込められています。

プロフィール

- ・名 前: 大塚アート
- ・身 長: 142cm
- ・体 重: 100 kg
- ・時 速: 1 km/h
- ・性 別: 男
- ・特 技: 自律走行、4ヶ国語を話すことができる。
- ・ウラ技: レーザー光線も使う!
- ・弱 み: アガリ症で一方向的にしかしゃべれない。

アートくんです。
ヨロシクネ!



「アートくん」お仕事

ギャラリートーク

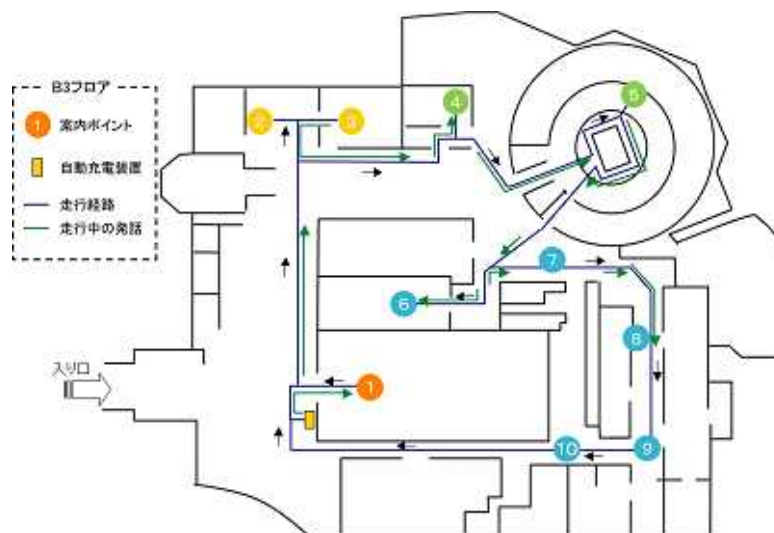
B3フロアにある「システイーナ・ホール」や「スクロヴェーニ礼拝堂」など現地の環境空間ごと原寸大で立体再現した環境展示を中心に、古代や中世の下表10ヶ所を1時間ほどでご案内します。

自律的に館内を移動し、作品の前では、音声および胸にある液晶画面を用いながら、作品の解説をします。

また、「システイーナ・ホール」などの大きな展示室3ヶ所ではレーザーポインタを駆使します。

【開始時間】9:50～ / 12:10～ / 14:30～（1日3回・各回約1時間）

案内ポイント	内容
1 システイーナ・ホール	「システイーナ礼拝堂天井画および壁画」（作品No.1） *レーザーポインタ使用
2 フェルメールの部屋	「デルフトの小路」（作品No.413）、「デルフトの眺望」（作品No.414）、「真珠の耳飾りの少女」（作品No.1060）、「手紙を読む女」（作品No.463）、「牛乳を注ぐ女」（作品No.464）
3 エル・グレコの部屋	「エル・グレコの祭壇衝立復元」（作品No.6） *レーザーポインタ使用
4 秘儀の間	世界遺産・ポンペイの紹介、「秘儀の間」（作品No.7）
5 古代ホール	「獅子狩り」（作品No.23）、「飛び込む男」（作品No.135）、「饗宴」（作品No.136）
6 スクロヴェーニ礼拝堂	「スクロヴェーニ礼拝堂壁画」（作品No.139） *レーザーポインタ使用
7 中世ギャラリーA	「皇帝ユスティニアヌスと随臣たち」（作品No.146）、「王妃テオドラと侍女たち」（作品No.147）
8 中世ギャラリーB	“アイコン”を含めたキリスト教美術の概要紹介
9 中世ギャラリーB	「聖フランチェスコとその生涯（ペッシャ祭壇画）」（作品No.179）
10 中世5	B3フロア以外の館内見どころ紹介



イベント開催時は、ルートを変更します

【参考】来館者におけるギャラリートーク参加者の現状

- ・音声ガイド（4ヶ国語対応）7%
- ・美術ボランティア 定時ガイド（1日6回）17%
- ・スタッフによる週末ギャラリートークおよび予約案内 36%
- ・“アートくん”（1日3回/各回20名として）10%を想定

アートくんが顔診断～あの絵とあなたがそっくりさん！～

“アートくん” がギャラリートークを行っていない時間帯（充電時間中）のお楽しみとして、“アートくん” に自分の顔を認識させ、あなたに似ている名画の人物を探し出すプログラムを実施し、来館者とのコミュニケーションを図ります。自分に似た人物が描かれている名画を、特製ガイドブックを参考にじっくり鑑賞することで、作品への関心度が高まることを期待しています。また選ばれた人物のうち、10 作品の前には、作品解説のパネルを設置します。

【顔診断予定時間】 10:50～12:05 / 13:10～14:25 / 15:30～16:35

“アートくん” がそっくりさんを探す、24 の人物画（男性：12 点、女性：12 点）



閉館時のお見送り【時間】16:45～17:00

“アートくん” がお帰りの皆様をお見送りします。“アートくん” からのメッセージ、忘れず聞いてね！


ポイント

- ・ 日本語、英語、韓国語、中国語の 4 ヶ国語に対応した 1 時間のギャラリートーク
- ・ 鑑賞ポイントでは、レーザーポインタや音声、液晶画面を使って展示室 10 ヶ所を分かりやすく案内
「展示品説明ロボットおよびロボットを使用した展示品説明方法」について特許出願中（特願 2009-167970）
- ・ 顔認識技術を駆使した、ロボット顔診断プログラムを考案
開発した総合警備保障株式会社でも、ロボットに顔認識技術を組み込んだのは、初めての試みです
- ・ あらかじめ決められた時間になると自動的にスタートし、自律走行
走行中、ある一定範囲内に人を感知した場合、スピードを緩めたり停止いたします

ロボットの主な導入先

- ・ キャナルシティ博多（福岡県福岡市）
- ・ アクアシティお台場（東京都港区）
- ・ 浜松科学館（静岡県浜松市）
- ・ ALSOK 本社ショールーム他

主な仕様

主な仕様		ロボットイメージ
ロボット名称	ガードロボットD1	
主たる用途	警備、インフォメーション	
本体寸法(WxDxH)[mm]	650×700×1420	
質量[kg]	100	
速度	30cm/s(1km/h)	
登坂角度[deg]	±5 (車椅子用スロープと同様)	
動力	DC24V鉛蓄電池 (メンテナンスフリータイプ)	
連続走行時間	2.5h以内 4h以内 (オプション大容量バッテリー使用時)	
満充電時間	2.5h 4h (オプション大容量バッテリー使用時)	
駆動方式	4輪タイヤ (前輪駆動)	
充電方式	接点接触式自動充電 簡易バッテリー交換可	
監視装置への送信方式	無線LAN(11b/g)	

総合警備保障株式会社におけるロボット開発の歴史

総合警備保障株式会社 (本社：東京都港区、代表取締役社長：村井温、以下「ALSOK」) は、1982年に警備ロボットの研究開発に着手しました。「労働集約性の高い常駐警備の効率化」「少子高齢化社会に伴う労働力不足への対応」「警備員の負担軽減」をテーマに、さまざまな研究・開発を重ね、まさに警備ロボットのパイオニアであり、随一の実績を誇っています。

2005年6月には「警備ロボットD1」を発表し、複合商業施設やオフィスビルで実証試験を重ねました。翌2006年11月には、実証試験の結果をもとに改良を加え、ロボットと警備員が連携して働く新しいセキュリティシステム「リボークQ」を発表致しました。現在、ALSOKのロボットは全国の9施設で活躍しています。この度、ALSOKは「リボークQ」をギャラリートークロボットとしてカスタマイズし、大塚国際美術館に導入しました。

関連情報

- ・総合警備保障株式会社 (ALSOK)
URL <http://www.alsok.co.jp/>



ギャラリートークをする「アートくん」

大塚国際美術館とは

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界 25 ヶ国 190 余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000 点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に複製しています。約 4 km に及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晚餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇画「最後の審判」とともに立体再現した「システーナ・ホール」の迫力は必見です。

大塚国際美術館

住所：徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

TEL：088-687-3737

FAX：088-687-1117

<http://www.o-museum.or.jp/>

開館時間：9 時 30 分から 17 時まで

（入館券の販売は 16 時まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

正月明けに連続休館あり / 7・8 月無休

入館料：小・中・高生 520 円

大 学 生 2,100 円

一 般 3,150 円

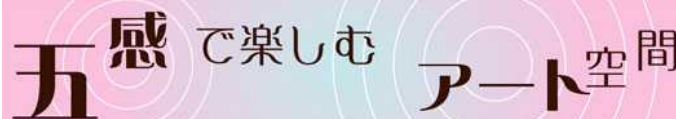
*20 名以上の団体は 10%割引

アクセス

- ・鳴門北 IC から車で約 3 分
専用駐車場より無料シャトルバス運行
- ・高速バスにて（高速鳴門まで）
JR 大阪駅より約 2 時間 10 分 / JR 新神戸より約 1 時間 30 分
- ・路線バス「鳴門公園行」にて「大塚国際美術館前」下車
JR 徳島駅より約 55 分、JR 鳴門駅より約 20 分、
「高速鳴門バス停前」より約 15 分、「徳島空港口」バス停より約 25 分



環境展示：「システーナ・ホール」



《本件に関するお問い合わせ先》

大塚国際美術館 企画・広報部 坂本明子

TEL：088-687-3737 FAX：088-687-1117

e-mail：museum@otsukakj.co.jp

作品画像は大塚国際美術館の展示作品を撮影したものです